

サンダーボルト007

[グリホサートイソプロピルアミン塩・ピラフルフェンエチル水和剤]

農林水産省登録 第21072号

有効成分 グリホサートイソプロピルアミン塩…30.0%
ピラフルフェンエチル…0.16%

性 状 類白色水和性粘稠懸濁液体

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称） 危険物：- 有効年限：3年 包装：500ml×20、2ℓ×6、5ℓ×4 RACコード：除草[9][14]

特長

- 移行性のあるグリホサートに接触型のピラフルフェンエチルを混合した、速効力と持続力を合わせもつ非選択性茎葉処理型除草剤です。
- 雑草生育期の茎葉散布で一年生雑草から多年生雑草まで幅広く枯らします。
- 特に、スベリヒユ、マルバツユクサ、タンポポ、アサガオ類に、より高い効果を示します。

効果、薬害等に関する注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 容器をよく振ってから使用する。
- 散布器具、容器は除草剤専用のものを用いる。
- 本剤はグリホサートを含む混合剤であるので、他のグリホサートを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用する。
- 本剤は展着剤加用の必要はない。
- 土壌が流亡したり、くずれたりするおそれのある所では使用しない。
- 激しい降雨が予想される場合は使用をさける。
- アレチウリ（草丈2m以内）防除に際しては500ml/10a以上の薬量で使用する。
- スギナ防除に際しては、スギナの生育期を過ぎた時期での散布及びスギナが他雑草の中に埋没しているような条件では効果が劣ることがあるので、適期にスギナにかかるように注意して散布する。また、スギナの再生を長期間抑制したい場合には、薬量を3000～4000ml/10aに設定することが望ましい。
- 多年生雑草およびツユクサ科雑草を主対象に使用する場合、所定範囲の多めの薬量を使用する。
- 作物の出芽前に使用する場合は、作物の出芽後に散布すると薬害を生じるおそれがあるので、必ず出芽前に散布する。
- 生育期畦間散布に使用する場合には作物にかからないよう十分注意して散布する。
- 本剤の散布適期は雑草生育期(草丈30cm以下)なので、時期を失ないように散布する。なお、きくに使用する場合又は薬量1000ml/10a以上で使用する場合（スギナを除く）は、草丈50cm以下が散布適期である。
- 水田畦畔で薬量を50～150ml/10aで使用する場合、草丈20cm以下を目安に処理する。
- 農作物や有用植物にかかると強い薬害を生じるので、風向きなどに十分注意してかからないように散布する。
- 水田への飛散、流入等により水稲に薬害が生じるので十分注意する。
- 散布液を調製した容器及び器具は使用后石けん水等で十分洗浄する。
- 公園、堤とう等で使用する場合、特に以下のことに注意する。
 - 1)水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意する。
 - 2)散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理する。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

■ 安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗する。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン長袖の作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管する。

■ 水産動植物に対する注意事項

- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。
- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

適用内容

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数	ピラフルフェンエチルを含む農薬の総使用回数					
				薬量	希釈水量									
果樹類 (かんきつ、パイナップルを除く)	—	一年生及び多年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期)	400～1000mℓ /10a	100ℓ /10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内	3回以内					
かんきつ								5回以内						
野菜類 (きゅうり、トマト、なす、アスパラガス、ほうれんそう、たらんき、レタス、オリーブ(葉)、びわ(葉)、ピーマン及びとうがらし類、にんじん、薬用にんじん、だいこん、ねぎ、たまねぎ、豆類(種実)、えだまめ、かんしょを除く)		一年生雑草	耕起前又は定植7日前まで (雑草生育期)	400～600mℓ /10a		100ℓ /10a		1回	1回	3回以内	1回			
きゅうり トマト なす アスパラガス ほうれんそう たらんき レタス オリーブ(葉) びわ(葉)									3回以内					
ピーマン及びとうがらし類 にんじん									2回以内					
薬用にんじん									10回以内 (1年間に2回以内)					
だいこん									2回以内					
ねぎ									耕起前又はは種7日前まで (雑草生育期)			3回以内	3回以内	3回以内
									定植後畦間処理：雑草生育期 但し、収穫30日前まで					
たまねぎ									耕起又は定植7日前まで (雑草生育期)			3回以内	3回以内	3回以内
	定植後畦間処理：雑草生育期 但し、収穫30日前まで													
豆類 (種実、ただし、だいち、らっかせいを除く)	一年生雑草	耕起前又はは種10日前まで (雑草生育期)	400～600mℓ /10a	100ℓ /10a	1回	2回以内	1回							

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数	ピラフルフェンエチルを含む農薬の総使用回数		
				薬量	希釈水量						
だいず	—	一年生雑草	畦間処理：雑草生育期 但し、収穫前日まで	400～ 600mℓ /10a	100ℓ /10a	2回以内	雑草茎 葉散布	4回以内	4回以内		
らっかせい			は種後出芽前 (雑草生育期)							1回	1回
えだまめ			耕起前又はは種10日前まで (雑草生育期)							3回以内	4回以内
かんしょ			耕起前又はは種7日前まで (雑草生育期)							2回以内	1回
麦類(小麦を除く)			耕起又は挿苗7日前まで (雑草生育期)							2回以内	2回以内
小麦			耕起7日前まで (雑草生育期)							3回以内	2回以内
水田作物(水稲を除く)			は種後出芽前 (雑草生育期)							3回以内	2回以内
移植水稲、直播水稲		耕起前 (雑草生育期)	500～ 1000mℓ /10a	2回以内		2回以内					
茶		一年生雑草	耕起20～10日前 (雑草生育期)	400～ 600mℓ /10a		1回		1回	2回以内	1回	
きく		一年生及び 多年生雑草	摘採7日前まで (雑草生育期)	400～ 600mℓ /10a		1回		2回以内	2回以内		
水田作物(水田畦畔)		一年生雑草	耕起前または定植前まで (雑草生育期)	500～ 1000mℓ /10a		2回以内		3回以内	2回以内		
水田作物、畑作物(休耕田)		一年生及び 多年生雑草	収穫14日前まで (雑草生育期)	500～ 1000mℓ /10a		2回以内		3回以内	2回以内		
水田作物(水田刈跡)		一年生雑草	雑草生育期	400～ 600mℓ /10a		1回		1回	1回		
牧草		多年生雑草	雑草生育期	500～ 2000mℓ /10a		1回		1回	1回		
牧草	牧野・草地	一年生及び 多年生雑草	更新・造成10日前まで (雑草生育期)	400～ 750mℓ /10a	3回以内	2回以内					

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数	ピラフルフェンエチルを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
樹木等	公園 庭園 堤とう 道路 運動場 宅地 鉄道 のり面等	一年生及び 多年生雑草	雑草生育期	500～ 1000mℓ /10a	100ℓ /10a	3回以内	植栽地を除く 樹木等の周辺 地に雑草茎葉 散布	3回以内	3回以内
		スギナ		1000～ 4000mℓ /10a					

作物名	適用場所	適用雑草名	使用目的	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数	ピラフルフェンエチルを含む農薬の総使用回数
					薬量	希釈水量				
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生及び 多年生雑草	草丈抑制による刈込軽減	雑草生育期又は刈取後再生期 但し、収穫14日前まで	50～150mℓ /10a	100ℓ /10a	2回以内	雑草茎葉散布	3回以内	2回以内

製品写真



最新の登録内容はこちら

